

## 主な課題認識と当面の進め方（たたき台）

①ビジョンの土台となる考え方とともに、②今後は次頁の課題を軸に議論を進め、深めるべき論点を明らかにすることとしてはどうか

## &lt;ビジョンの土台&gt;

○人口減少が進行した将来社会における京都の農林水産業や農山漁村の将来像を描く上で大切にすべき視点

- ・ 京都府の農林水産業・農山漁村の役割や機能
- ・ 中山間集落や小規模家族経営など厳しい状況にある方々への支援
- ・ 夢のある、もうかる農林水産業の実現（若者から選ばれる職業へ）
- ・ ICT技術の導入を見据えた企業や大学等との連携のあり方

## 【メモ記載欄】

(※テーマごとに第2回以降に議論する)

<各分野>

○農業・畜産業【第2回】

- ・小規模な水稻農家が多い中山間地集落における農業の展開方向
- ・ブランド京野菜等旺盛な需要に対応するための生産体制
- ・農業法人における新たな担い手の就業拡大
- ・近い将来の廃業が懸念される多数の小規模酪農等の次世代継承

○林業【第3回】

- ・森林環境税の導入も踏まえた経済的に持続する経営の育成
- ・山地災害の未然防止に向けた森林整備や奥地等の植林地管理のあり方

○水産業【第3回】

- ・成長が見込める養殖生産の拡大とブランド力の向上
- ・漁村コミュニティと密接不可分な定置網漁業等の方向性

○地域づくり、6次産業化【第4回】

- ・地域外の人材等を活用した持続的な農山漁村コミュニティの構築
- ・地域食文化を活かす視点やDMOとの連携など観光振興との相乗効果
- ・実需と産地等との連携強化によるマーケットイン型のアグリビジネスの展開

○ICT活用、ブランド・流通【第4回、第5回】

- ・将来の人口減少の進行を見越したICTの農林水産現場への実装
- ・ターゲットを捉まえた京都ブランドの方向性や国内外への販路拡大
- ・消費者の食生活やライフスタイルの変化を踏まえた流通の多様化

〔※条例に基づく各種計画・指針（食の安心・安全行動計画、森林保全指針）  
や都市農業振興基本計画等を別途検討中〕